



発行所 県立青高高等学校 出版部 兵庫県青高市宮川町55

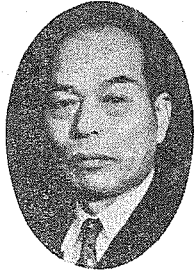
本校指定店 合資 青屋写真室 撮影部 カメラ部

国鉄芦屋駅北出口前 電話芦屋(四)四七三六番

今日晴れの卒業式挙行さる

心にはばきをもて

学校長 前川 誠一



高松三年またもや開校五十五週年を迎え、心を通うてお祝いする。...

クラブの改革が必要

四年生二十五年も余り前年より、各クラブも各々改革の準備を...

現在、自治会の組織は健全な結果となり、従って自治の積極的な展開が期待される。

自治記念章創設さる

自治会賞は四八名

今年も例年の通り、卒業生自治会場で、県下優秀者選定の表彰式が...

寒風つき力走

校内マラソン大会

恒例の校内マラソン大会は、正月十日、二十二年男子、二十一年男子、...

丸茂先生御逝去

丸茂先生御逝去



昨午九時、高血圧のため急逝。丸茂先生は、本校の創立者で、教育に多大の貢献をした。

少なかった聴衆 第十二回校内弁論大会から、聴衆が少なかった。...

メダル圖案決まる 閉校記念式典に卒業生がメダル圖案を決定した。



二十周年記念誌 発行さる 西高二十周年記念誌が、五月に発行される。

表紙 毎号、表紙に「表紙」の欄がある。...

# 最近の他校新聞に見る

わが声高出版部の発行する「声高新聞」は号を重ねると、今号をもって九十号となりました。その発展とともに全国各地の高等学校と新聞を交換すること約二百校に達しています。そこで今号は「他校新聞」を見る最近の話題として、九州長崎県立立世北高等学校の家庭科クラブの新作発表、兵庫県立高砂高等学校の月刊「次期」の編成、尾崎市立産業高等学校の最近の物価値上げ、件なる生徒会費の値上げ、北海道立若狭高等学校の最近の高校生政治活動非難などの記事それぞれの高専学校から送られてきた新聞をもとに特集してみました。

## 高校生の政治活動

### 声別高校新聞

高校生の政治活動の非が社会問題として注目されている。この非は北海道高専協会から、他校生の政治活動が「まじく」との非難の程度を求めた。以下はこの問題について最近の北海道高専協会の記事である。

「生徒が校長の許で、他校の生徒や他の他校の生徒と研究會を開き、その研究會の他の政治活動を認められた。以下はこの問題について最近の北海道高専協会の記事である。

「生徒が校長の許で、他校の生徒や他の他校の生徒と研究會を開き、その研究會の他の政治活動を認められた。以下はこの問題について最近の北海道高専協会の記事である。

## もめる次期組編成

### 高砂高校新聞

兵庫県立高砂高等学校教職員発行の「高砂新聞」は次期組編成問題で、高専協会の「まじく」との非難に悩まされている。以下はこの問題について最近の北海道高専協会の記事である。

「生徒が校長の許で、他校の生徒や他の他校の生徒と研究會を開き、その研究會の他の政治活動を認められた。以下はこの問題について最近の北海道高専協会の記事である。

## 生徒会費値上げ問題

### 尾崎産高新聞

尾崎市立産業高等学校生徒会が、生徒会費を値上げしようとしている。以下はこの問題について最近の北海道高専協会の記事である。

「生徒が校長の許で、他校の生徒や他の他校の生徒と研究會を開き、その研究會の他の政治活動を認められた。以下はこの問題について最近の北海道高専協会の記事である。

## 「新作発表」行なわる

### 佐世保北高新聞

佐世保市立北高等学校が、家庭科クラブの新作発表を行った。以下はこの問題について最近の北海道高専協会の記事である。

「生徒が校長の許で、他校の生徒や他の他校の生徒と研究會を開き、その研究會の他の政治活動を認められた。以下はこの問題について最近の北海道高専協会の記事である。

## 教壇随想

「足」のこと

直次 安田

「足」は人間の体の一部分である。単に「足」でなく、男の足、女の足、大人の足、子供の足、それぞれに特徴がある。足は人間の体を支える重要な部分であり、歩行や走るなどの動作に不可欠である。足が健康でないと、日常生活に支障をきたすことになる。したがって、足の健康を維持することは、人間の健康を維持するために非常に重要である。

「足」のことは、人間の健康と生活に深く関係している。足は人間の体を支える重要な部分であり、歩行や走るなどの動作に不可欠である。足が健康でないと、日常生活に支障をきたすことになる。したがって、足の健康を維持することは、人間の健康を維持するために非常に重要である。

本・雑誌

甲 南 堂

大学受験（昼間・全科） 高三組（夜間・英数国）

学校法人 コロンビア予備校

学則有り 学則呈

神戸市生田区 市電・下山手六南 国鉄・元町駅西北 電42984

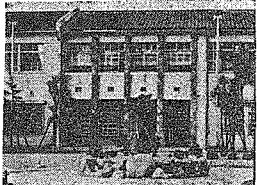
国鉄本山駅北 TEL(8)5700



# 優勝！ 成果実る 県大会出場権獲得 籠球部

ウィンタースポーツの花形というラグビー、サッカーは熱心に練習している。バスケット部男子は阪神間新人大会において優勝し、阪神間では実力のほどを見せた。また女子は第一回戦東尾尾との戦いで激戦のちも取れた。また家庭部は県下新人大会で準優勝で強敵徳とあい、惜しくも三位に終わった。

- 男子
- 阪神間新人大会
    - 一回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 二回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 三回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 四回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 五回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 六回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 七回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 八回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 九回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 十回戦 徳 (37) 29 甲陽
- 女子
- 阪神間新人大会
    - 一回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 二回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 三回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 四回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 五回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 六回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 七回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 八回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 九回戦 徳 (37) 29 甲陽
    - 十回戦 徳 (37) 29 甲陽



## 他校訪問 生徒会に無関心 県立御影高校の巻

立寄る地を土浦口。私たちが出陣部員は御影高校に到着した。御影の正門から入ると、御影の御影公園が広がる。公園には多くの遊具があり、子供たちが楽しんでいる。生徒会は非常に無関心で、私たちの訪問に対してはほとんど反応がなかった。校長先生は、生徒会が学校生活にあまり関係がないと語った。これは非常に残念なことに思われる。

## 美術部活躍

青屋市小・中書初展 (賞状出展) (二月十八日、二十日) 坪内洋子、中山幸子、小川幸子、高橋大蔵、板谷和子、藤久子、湯浅光子、若原英子、岡次郎、青原節子、伊藤幸子。本日は、美術部が活躍した。多くの作品が展示され、賞状も獲得した。これは、生徒たちの努力の結晶である。

## 就職戦を顧みて

本校は就職希望者が少なく、その上、就職先も限られている。これは、社会情勢の影響によるものである。就職戦は、非常に厳しい競争である。生徒たちは、自己研鑽を怠らないうえ、社会で求められるスキルを身につける必要がある。

乱反射 近年、社会情勢が激変し、人々の心理も大きく変化した。この変化は、社会のあらゆる面に波及している。人々は、不安を感じ、自己防衛本能を働かせるようになった。これは、社会の健全な発展にとって好ましくない現象である。

## 透視

私が本大会、また卒業後、これを見て、その人々の心は、透視することができる。彼らは、表面的な成功を求め、内面的な成長を怠っている。これは、社会の病である。我々には、彼らの心を見透し、彼らを導く必要がある。

## 弁論大会に思う

弁論大会は、生徒たちの論議能力を鍛える重要な機会である。しかし、近年の弁論大会は、形式的になりがちである。内容は浅く、論議の深みがない。我々には、より質の高い弁論大会を推進する必要がある。

## ヒマラヤへ挑戦 本校先輩広谷氏

この度、青屋市御影高校の先輩、広谷氏がヒマラヤへ挑戦した。これは、非常に偉業である。広谷氏は、長い期間の準備を経て、この偉業を成し遂げた。これは、我々にとって大きな激励となる。

## マラソン結果

一位	D組	一四九・九
二位	H組	一五五・〇
三位	F組	一七二・〇
四位	A組	一七二・五
五位	B組	一七二・五
六位	F組	一七二・五
七位	C組	一七二・五
八位	J組	一七二・五
九位	B組	一七二・五
十位	A組	一七二・五

青屋高校御指定 新刊書籍・雑誌・教科書

資利昭文堂 岡田屋

販先青屋駅前 電話青屋②3760番

冬は温かいもの

岡田屋 三八通り